

仙台市自動車運送事業経営改善計画
(平成29年度～平成33年度)

平成29年度実施結果・評価

目 次

1 お客様サービスの向上

(1) 便利で利用しやすいサービスの提供

- ① 定時性の向上に向けたダイヤの編成（輸送課）・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ② 地下鉄等との連携強化によるサービスの向上（輸送課）・・・・・・・・ 2
- ③ ホームページなどを活用した「知りたい」に応える情報提供の充実
（経営企画課・業務課・輸送課）・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ④ バス待ち環境の向上（輸送課）・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

(2) 安全・快適なサービスの提供

- ① 運転技術の向上と安全運行の徹底（業務課）・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- ② 接客教育の充実による接客サービスの向上（業務課）・・・・・・・・ 6
- ③ 人とまちに優しいバス車両の導入（整備課）・・・・・・・・・・・・ 7
- ④ 災害対応訓練の実施（業務課）・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

2 安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築

(1) 増客・増収に向けた取り組み

- ① 市バスの利用促進に向けた取り組み（経営企画課）・・・・・・・・ 9
- ② 新たな需要の捕捉と取り込み（輸送課）・・・・・・・・・・・・ 10
- ③ 運賃制度及び運賃水準の検討（経営企画課）・・・・・・・・・・・・ 11
- ④ 広告料収入の確保（経営企画課）・・・・・・・・・・・・ 12
- ⑤ 親しみの持てる市営バスへの取り組み（経営企画課）・・・・ 13
- ⑥ 資産の有効活用（業務課・財務課）・・・・・・・・・・・・ 14

(2) 効率的経営に向けた取り組み

- ① 人件費の抑制に向けた取り組み（総務課）・・・・・・・・・・・・ 15
- ② 管理の委託の継続的な活用（輸送課）・・・・・・・・・・・・ 16
- ③ 利用状況に応じた運行の効率化（輸送課）・・・・・・・・・・・・ 17
- ④ バス車両にかかる投資額抑制（整備課）・・・・・・・・・・・・ 18
- ⑤ 施設の効率的な管理・更新（財務課・業務課）・・・・・・・・・・・・ 19
- ⑥ 燃料費・光熱水費の節減（財務課・業務課）・・・・・・・・・・・・ 20

(3) 組織の活性化に向けた取り組み

- ① 乗務員の安定的な確保と育成（総務課・業務課）・・・・・・・・ 22
- ② 業務への意欲を高める取り組み（総務課・業務課）・・・・ 23
- ③ 職員の意識の向上と働きやすい環境づくり（業務課）・・・・ 24

個別計画概要

番号	1-(1)-①
大区分	お客様サービスの向上
中区分	便利で利用しやすいサービスの提供
事業名	定時性の向上に向けたダイヤの編成

担当課係

輸送課	運行計画係
-----	-------

目的・必要性	道路渋滞などの走行環境を考慮したダイヤ編成によって各バス停の時刻表と実際の運行におけるバス停通過時刻の差を解消し、バスの定時性を高めることでバスの利便性向上を目指す。
内容	・運行区間ごとに状況を把握・分析し、道路渋滞などの走行環境を考慮した適切なダイヤ編成を実施する。

平成29年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・平成29年4月に実施したダイヤ改正後の運行状況や遅延状況を確認し、時刻表の見直しが必要となる停留所では、次回のダイヤ改正で実態に合わせて見直しをし、定時性の向上を図る。
事業実績	・ダイヤ改正実施により、「バス停通過時刻の遅れ5分未満」の割合が改善した(平成29年度44.7% 平成28年度38.7%)。
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	1-(1)-②
大区分	お客様サービスの向上
中区分	便利で利用しやすいサービスの提供
事業名	地下鉄等との連携強化によるサービスの向上

担当課係

輸送課	管理係 運行計画係
-----	--------------

目的・必要性	バス、地下鉄等とを乗り継いで利用しやすいダイヤ設定や待合環境の整備などに取り組むことにより、市バスと地下鉄等とを組み合わせた移動の利便性向上を目指す。
内容	<ul style="list-style-type: none"> バスと地下鉄・JR線との乗り継ぎを考慮したダイヤを設定する。 地下鉄駅に設置しているバス発車時刻表示器を新設・更新する。

平成29年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> 地下鉄・JR線の駅を運行するバス路線について、平成29年4月に実施したダイヤ改正後の運行状況等を確認し、バスから地下鉄等、地下鉄等からバスに、より乗り継ぎしやすい時刻設定に努める。 地下鉄駅においてバス乗り継ぎ客向けの接近情報を大型液晶ビジョン(LCD)で表示するサービスを拡大する。
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ダイヤ改正を実施し、地下鉄とより乗り継ぎしやすい時刻設定を行った。 地下鉄南北線4駅(泉中央駅・八乙女駅・旭ヶ丘駅・長町南駅)に、バス乗り継ぎ客向けの接近情報を表示する大型液晶ビジョン(LCD)を導入した。
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	1-(1)-③
大区分	お客様サービスの向上
中区分	便利で利用しやすいサービスの提供
事業名	ホームページなどを活用した「知りたい」に応える情報提供の充実

担当課係

経営企画課	営業推進係
業務課	庶務係
輸送課	管理係

目的・必要性	インターネット等を活用した分かりやすい情報提供に努めることにより、バス・地下鉄に関する様々な情報を手軽に入手できる便利なサービスの充実を目指す。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・交通局のホームページや配付物などを通じ、市営バスの運行情報や運賃のご案内に加え、各種イベント情報など、様々な情報をお知らせする。 ・「どこバス仙台」及び「せんだい市バス・地下鉄ナビ」をそれぞれインターネット上で運用する。 ・ホームページ等の多言語表記を充実させる。

平成29年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各コンテンツの表示について、専門用語を多用せず、わかりやすい表示に努める。 ・「どこバス仙台」の運用により、バスの接近状況や混雑状況等をリアルタイムに提供する。 ・「せんだい市バス・地下鉄ナビ」の運用により、市営バスや地下鉄での移動に係る経路・運賃・時刻表等の情報を提供する。 ・ホームページの多言語表記を充実させる。
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ製作ガイドライン及び運用方針により、ホームページの安定的な運用管理を行い、利用者にとってわかりやすい表示に努めた。 ・「どこバス仙台」を確実に運用した。 ・「せんだい市バス・地下鉄ナビ」のサービス提供を行うとともに、駅・停留所名の検索機能の追加など利便性の向上を図った。 ・多言語化に向け他事業者等の状況について情報を収集した。
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	1-(1)-④
大区分	お客様サービスの向上
中区分	便利で利用しやすいサービスの提供
事業名	バス待ち環境の向上

担当課係

輸送課	管理係
-----	-----

目的・必要性	お客様が安心かつ快適にバスを待つことができる環境整備を進め、バスの利便性向上を目指す。
内容	・バス停留所上屋の設置・修繕や、電照式バス停留所等の着実な整備を進める。

平成29年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・仙台駅西口バスプールの大型上屋の大規模改修や、昭和から平成初期に設置したバス停留所の上屋の塗装、修繕工事を行い、バス待ち環境の安全性向上を図る。 ・広告付を含むバス停留所上屋の設置や、電照式標識の設置により快適なバス待ち環境の整備を進める。
事業実績	・電照式停留所標識(薄型・LEDタイプ)4基設置(設置計画4基)。 ・上屋修繕6基実施(旧型×4基・定禅寺×2基)(修繕計画10基)。 ・広告付上屋3基整備(交通局希望基数5基)及び宝くじ上屋1基整備(設置計画1基)。
評価	計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない)
備考	旧型上屋の損傷状況がひどく、予算内での修繕予定箇所全てには着手出来なかった。広告付上屋の整備数が、交通局の希望数に満たなかった。

個別計画概要

番号	1-(2)-①
大区分	お客様サービスの向上
中区分	安全・快適なサービスの提供
事業名	運転技術の向上と安全運行の徹底

担当課係

業務課	指導係
-----	-----

目的・必要性	安全に対する意識の向上を目的に、全車両に設置されているドライブレコーダーの映像を活用し、専門の外部講師を招くなど、安全運転に係る知識の充実や運転技術の向上を図り、更なる事故防止を目指す。
内容	・様々な研修の実施を通して、乗務員の運転技術の向上や安全に対する意識の浸透を図り、有責事故発生件数の減少を目指す。

平成29年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・有責事故抑止目標件数 84件 ・10万kmあたりの有責事故抑止目標 0.52件 <p>平成23～28年度の10万キロあたりの有責事故件数の平均値(0.52)を目標設定とし、以後、新経営改善計画期間中の目標設定では毎年2.5%減少させ、計画最終年度となる平成33年度には10%減となるよう設定する。</p>
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・有責事故抑止目標84件に対し 93件(昨年度91件) ・10万kmあたりの有責事故抑止目標0.52件に対し 0.54件 ・クレフィール湖東交通安全研修所派遣 3名/他都市派遣研修 5名 /再任用職員研修 71名受講 ・事故削減プロジェクト研修 143名受講/正職員時採用時研修(座学・運転技能) 11名受講/乗務経験1年未満乗務員研修 30名受講 <p>(事故削減プロジェクト研修等において、事故やヒヤリハット事例に関するドライブレコーダーの映像を活用し、事故の未然防止を図った。)</p>
評価	計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない)
備考	乗務員研修やドライブレコーダー等を活用し交通事故の未然防止に努めたものの、有責事故抑止目標件数を達成できなかった。

個別計画概要

番号	1-(2)-②
大区分	お客様サービスの向上
中区分	安全・快適なサービスの提供
事業名	接客教育の充実による接客サービスの向上

担当課係

業務課	指導係
-----	-----

目的・必要性	外部講師による講義により接客サービスに不可欠な知識及び対応等の習得を行い、より快適にご利用いただける接客サービスの提供を目指す。
内容	・乗務員への様々な接客研修を充実させることにより、市バスモニター制度の平均評価の向上及び年間苦情件数の減少を目指す。

平成29年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> 市バスモニター平均点 32.6点 平成28年度目標の32.6点を目標値と設定する。以後、毎年2.5%増加させ、計画最終年度となる平成33年度には10%増となるよう設定する。 苦情年間総件数 72件以内 平成28年4月～平成29年1月の苦情件数の月平均6件を1年間として計算した数値72件を目標値として設定する。以後、毎年2.5%を減少させ、計画最終年度となる平成33年度には10%減となるよう設定する。
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> モニター平均点 32.5点(全体/4月～1月) 31.4点(直営/4月～1月) 35.4点(委託/4月～1月) 苦情年間総件数 50件 業務課職員添乗件数 3,312件 接客サービス向上(CS)研修 136名受講(計画通り進んだ。研修では、ロールプレイングを取り入れ、自身の接客状況を録画し、その状況等を客観的に見ることで、スキルの向上に繋がった。その結果、モニター平均点が上がったほか、賞揚についても、前年度144件に対し今年度は165件と21件の増加に繋がった。)
評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	1-(2)-③
大区分	お客様サービスの向上
中区分	安全・快適なサービスの提供
事業名	人とまちに優しいバス車両の導入

担当課係

整備課	管理係
-----	-----

目的・必要性	高齢者や障害のある方でも乗り降りの負担が少ない、かつ、排出ガスによる環境負荷の少ないバス車両の導入により、人にもまちにも優しいバスサービスの提供を目指す。
内容	・障害のある方も乗り降りしやすい、国の最新の自動車排出ガス規制に適合したアイドリングストップ装置付きノンステップバスを計画的に導入する。

平成29年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・るーぷる1両を含む32両(新車26両中古車6両)を導入し、在籍車両に占める低公害バス(※1)比率を91%、低床バス(※2)比率を72%とする。 ※1 低公害バス＝アイドリングストップ装置付きディーゼルバス、ハイブリッドバス、CNGバス ※2 低床バス＝ノンステップバス、ワンステップバス
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・るーぷる1両を含む32両(新車26両中古車6両)を導入し、在籍車両に占める低公害バス比率を89%、低床バス比率を72%とした。
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	1-(2)-④
大区分	お客様サービスの向上
中区分	安全・快適なサービスの提供
事業名	災害対応訓練の実施

担当課係

業務課	指導係
-----	-----

目的・必要性	有事の際、交通事業者に求められる適切かつ迅速な対応を行い、お客様の安全を守ることができるよう、災害対応訓練等を実施する。
内容	・東日本大震災の経験を踏まえ、独自災害対応訓練や集団災害対応訓練を定期的実施する。

平成29年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・営業所独自の災害対応訓練を実施するとともに、事故・災害・事件等対応訓練を実施する。
事業実績	・9月8日 事故・災害・事件等対応訓練(白沢出張所敷地内/宮城消防署と連携)。 ・9月21日 集団災害対応訓練(茂庭浄水場内/太白消防署と連携)。 ・3月15日 バスジャック対応訓練(業務課/図上訓練)。
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(1)-①
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	増客・増収に向けた取り組み
事業名	市バスの利用促進に向けた取り組み

担当課係

経営企画課	企画係 営業推進係
-------	--------------

目的・必要性	バスの利用促進に向けた様々な取り組みを、関係部局とも協力しながら進めることにより、クルマから公共交通への利用転換を促し、増客及び増収を目指す。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本市が実施する、公共交通利用促進に向けた取り組みである「せんだいスマート」との連携・協力や、交通局独自の取り組みである「学都仙台 市バス・地下鉄フリーパス」アンケートキャンペーンを積極的に展開する。 ・交通局内のプロジェクトチームを中心に利用促進策を検討し、交通局を挙げて増客に取り組んでいく。

平成29年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と協力しながら「せんだいスマート」等のモビリティマネジメント施策を積極的に展開する。 ・増客や増収、サービスの向上等に繋がるアイデアを局内から募集したうえで、効果があり実現可能なアイデアについて局を挙げて取り組んでいく。 ・「学都仙台フリーパスアンケートキャンペーン」を通じて、お客様のニーズを把握し、より良いサービス提供に向けた検討を行う。
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と協力しながら「学都仙台 市バス・地下鉄フリーパス」やオープンキャンパス等でのパンフレット配布などを引き続き実施した。 ・バス事業の増客・増収等に向けたアイデアを局内から募集し、各種タイアップ企画やお絵かきバス等を実施した。 ・交通局の広報紙である市バス・地下鉄かわらばん「のるっちゃ」を7月に創刊し、バス車内等で配布した(6回発行 1回あたり15,000部。) ・4～5月に「学都仙台フリーパスアンケートキャンペーン」を実施し、フリーパスの販売促進を行うとともにお客様のニーズ把握を行った。 ・新入生が入学前の3月中に通学定期券を購入できるよう通学証明書の取扱いを変更するなど、4月の定期券発売窓口の混雑緩和策を図った。
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(1)-②
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	増客・増収に向けた取り組み
事業名	新たな需要の捕捉と取り込み

担当課係

輸送課	運行計画係
-----	-------

目的・必要性	需要を捉えた運行経路等の設定について検討し、事業の採算性向上を目指す。
内容	・大規模集客施設の新設などにより生じる新たな需要を捉え、これを取り込むことで事業の採算性向上が期待できるバス路線の設定について検討を実施する。

平成29年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・大規模集客施設の新設等、大きな新たな需要が見込める機会の情報収集を行い、機会が生じた場合は、採算性を踏まえて、新たなバス路線の設定について検討する。
事業実績	・大規模集客施設新設等の対象案件がなかった。
評価	取り組みの対象案件がなかった
備考	

個別計画概要

番号	2-(1)-③
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	増客・増収に向けた取り組み
事業名	運賃制度及び運賃水準の検討

担当課係

経営企画課	企画係
-------	-----

目的・必要性	運賃制度・運賃水準の見直しにより、収益性、採算性の改善を目指す。
内容	・収支の状況を踏まえながら、運賃制度や運賃水準のあり方について検討し、その見直しを進める。

平成29年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・収支の状況を分析し、運賃制度や運賃水準のあり方について検討を行う。
事業実績	・収支の状況、お客様の利用状況の分析をもとに、特別な運賃制度(市バスフリーパス、100円パック、特定1区)を見直す方針を決定した。 ・条例事項である市バスフリーパスの運賃改定に係る「仙台市乗合自動車運賃条例の一部を改正する条例」案を平成30年第1回定例会に提出したが継続審査となった。
評価	計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない)
備考	市バスフリーパスの運賃改定に係る条例案が継続審査となったことを踏まえ、経営改善に向けた取り組みについてお客様の理解が得られるよう、丁寧な説明と周知広報に努める。 なお、条例案は平成30年5月31日の予算等審査特別委員会を経て平成30年第2回定例会で原案のとおり可決され、平成30年10月1日付で市バスフリーパスは1ヶ月+800円(小児+400円)の運賃改定を行うこととなった。

個別計画概要

番号	2-(1)-④
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	増客・増収に向けた取り組み
事業名	広告料収入の確保

担当課係

経営企画課	営業推進係
-------	-------

目的・必要性	広告料収入の確保に向けた取り組みを進め、収益性の改善を目指す。
内容	・広告媒体の販売方法の工夫や認知度を高めるための取り組みなどにより、引き続き着実な広告料収入の確保に努める。

平成29年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・広告料収入について、平成29年度予算に掲げた161,095千円の達成を目指す。
事業実績	・平成29年度広告料決算額は163,096千円であり、取組目標である161,095千円を達成した。 決算額内訳 割当広告:87,732千円、申込広告75,364千円(うちポディー広告72,702千円)
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(1)-⑤
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	増客・増収に向けた取り組み
事業名	親しみの持てる市営バスへの取り組み

担当課係

経営企画課	営業推進係
-------	-------

目的・必要性	オリジナルグッズの作成・販売や大規模イベント等のタイアップなどを行うことにより、市営バスのイメージアップを図り、利用促進を目指す。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルグッズの作成、販売を実施する。 ・営業所等の施設を見学する「バス・地下鉄親子探検ツアー」を開催する。 ・大規模集客イベント等とのタイアップを行う。

平成29年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・市営バス75周年記念事業の実施(トミカ等オリジナルグッズの作成・販売)。 ・宮城バスまつりへの参加。 ・プロスポーツチーム等とのタイアップ事業の実施。
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市営バス75周年・地下鉄30周年を記念し、9月の「バス・ちか祭り」をはじめとしたイベント等を実施した。 ・市営バストミカ(6,000個)をはじめとするオリジナルグッズの作製・販売を行った。 ・「エヴァンゲリオン展」「羽生結弦写真とポスター展」とのタイアップ企画において、OBCビジョン(バス車両前方の運賃等を表示している画面)を活用して乗客誘致を図った。
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(1)-⑥
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	増客・増収に向けた取り組み
事業名	資産の有効活用

担当課係

業務課 財務課	庶務係 会計係
------------	------------

目的・必要性	バス事業資産の有効活用などを進め、さらなる収入の確保を目指す。
内容	・遊休不動産の貸付などの新たな有効活用策について検討を行う。

平成29年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・昨年度からの継続取組(新寺駐車場の民間バス事業者への有償貸付)を着実に実施するとともに、その他のバス事業資産や遊休不動産の有効活用策についても検討を行い可能なものから随時実施する。
事業実績	・新寺駐車場の一部を路線バス駐車場用地として民間バス事業者到有償貸付を行った。 ・岡田出張所跡地の一部を工事現場事務用地として民間業者到有償貸付を行った。 ・平成30年4月から木町通駐車場の10区画を観光バスの駐車場用地として有償貸付する内容の協議を整えた。
評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(2)-①
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	効率的経営に向けた取り組み
事業名	人件費の抑制に向けた取り組み

担当課係

総務課	人事係 労務係
-----	------------

目的・必要性	今後10年間で現在在籍している正職員乗務員の8割近くが定年退職する状況を踏まえつつ、バスの運行に要する費用のうち大きな割合を占める人件費を抑制することにより、事業経営のさらなる効率化を図る。
内容	・適正な定員管理、嘱託職員の活用及び効率的なダイヤ編成などにより、人件費の抑制を目指す。

平成29年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の事業規模等を考慮した必要乗務員数を精査し、適切な採用手法や採用規模により人材を確保する。 ・安全運行を確保しつつ、より効率的なダイヤ編成が可能となるよう、ダイヤ編成条件をはじめとした労働条件の見直しを可能なものから順次実施する。
事業実績	・将来の事業規模等も踏まえた適正な人員体制を考慮しつつ、必要な人材が確保できた。また、効率的なダイヤ編成に向けて、国における労働法制の動向等を注視しつつ、労働条件の見直しの検討を進めた。
評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(2)-②
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	効率的経営に向けた取り組み
事業名	管理の委託の継続的な活用

担当課係

輸送課	管理係
-----	-----

目的・必要性	管理の委託の活用により、引き続き運行経費の圧縮を図る。
内容	・引き続き、経費削減に資する管理の委託の活用を図っていく。

平成29年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・現在の委託を維持できるよう将来の委託規模など収支改善に資する管理の委託のあり方を検討する。
事業実績	・霞の目営業所の委託契約を更新した(平成30年度～平成34年度)。 ・今後の管理の在り方を検討するため、他都市状況について調査した。
評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
備考	将来の委託規模の拡大の可能性について探ってきたが、新たな受託可能な事業者が見当たらない状況であり、具体的な検討までには至らなかった。

個別計画概要

番号	2-(2)-③
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	効率的経営に向けた取り組み
事業名	利用状況に応じた運行の効率化

担当課係

輸送課	運行計画係
-----	-------

目的・必要性	路線バスの系統・区間の利用状況を詳細に分析し、減便等を行うことにより、運行の効率化を図り、持続可能な経営体質の構築を目指す。
内容	・利用状況の詳細な分析を行い、減便等によって運行の効率性向上を目指す。

平成29年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・バス事業の効率性・採算性を改善するため、現行ダイヤの利用状況の詳細な分析を行い、次回ダイヤ改正において、減便等による運行サービスの効率化を図る。
事業実績	・平成30年4月のダイヤ改正において、収支改善に向け、需要動向(乗客数)に応じて事業量2.5%に相当する減便を行った。
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(2)-④
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	効率的経営に向けた取り組み
事業名	バス車両にかかる投資額抑制

担当課係

整備課	管理係
-----	-----

目的・必要性	バス車両に係る投資額を抑制することにより、事業運営経費の圧縮を図る。
内容	<ul style="list-style-type: none"> 中古バス車両の活用により、必要車両数の確保に努めながら投資額の抑制を図る。 保有車両全般にわたる状態調査を実施し、適切な車両の保全により、計画的な車両更新に努める。

平成29年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> 中古バス市場調査の実施。 車両状態(使用年数、フレーム及びエンジンの状態、部品供給状況等)が良好な中古バス車両の購入。 車両状態調査の結果を踏まえ、その状態に応じた適切な車両保全を行う。
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 中古バス市場調査を実施し東京都と定期的な情報交換を行ったが、車両状態(使用年数、部品供給状況)の観点で本局が希望する車両ではなかったため購入を見送った。 車両状態調査の結果に基づき、適切な車両保全を行った。
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(2)-⑤
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	効率的経営に向けた取り組み
事業名	施設の効率的な管理・更新

担当課係

財務課 業務課	契約管財係 庶務係
------------	--------------

目的・必要性	施設の改修や更新の計画的な実施により、施設の長寿命化を図るとともに、長期的視点から維持管理経費の節減を目指す。
内容	・営業所や出張所及び整備工場の建築物や、その他付帯設備などの施設の状況調査を行い、資金計画も考慮しながら適切な改修・更新計画を策定するとともに、これを着実に実施する。

平成29年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・各施設の現況調査を行い、これを情報共有し、改修・更新計画の策定を行う。
事業実績	・施設の現況調査を行い、改修・更新計画の素案を作成した。
評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(2)-⑥
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	効率的経営に向けた取り組み
事業名	燃料費・光熱水費の節減(本局分)

担当課係

財務課	契約管財係
-----	-------

目的・必要性	バスの運行に要する燃料使用量や交通局庁舎・営業所・出張所における光熱水費のさらなる節減を図ることにより、事業運営費の圧縮と環境負荷の低減を図る。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料使用量の節減に向けて、引き続きエコドライブに取り組む。 ・交通局庁舎・営業所・出張所において、電気・ガス・水道使用量の節減を図る。

平成29年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・交通局本局庁舎において、冷暖房機器の適正な運転管理と室温管理を徹底するなど、設備の適切な使用により、過去5年間の使用実績を下回るよう努める。
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・電気使用量は目標達成できたが、ガス・水道は目標未達成となった。 電気使用量は、過去5年間の使用実績比 11.4%減 ガス使用量は、過去5年間の使用実績比 12.8%増 水道使用量は、過去5年間の使用実績比 3.9%増
評価	計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない)
備考	ガス使用量は、空調の使用によるものが大半であり、冬期の平均気温が過去5年間の平均より低かったため、使用量が増加した。 水道使用量は、平成28年10月からテナントが洗濯機を使用していることにより、水道使用量が増加した。

個別計画概要

番号	2-(2)-⑥
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	効率的経営に向けた取り組み
事業名	燃料費・光熱水費の節減(営業所・出張所分)

担当課係

業務課	庶務係 指導係
-----	------------

目的・必要性	バスの運行に要する燃料使用量や交通局庁舎・営業所・出張所における光熱水費のさらなる節減を図ることにより、事業運営費の圧縮と環境負荷の低減を図る。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料使用量の節減に向けて、引き続きエコドライブに取り組む。 ・交通局庁舎・営業所・出張所において、電気・ガス・水道使用量の節減を図る。

平成29年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・バス営業所の光熱水費について、平成28年度の使用実績を下回るよう努める。 ・エコドライブ強化月間に合わせ「ecoだより」を発行するなど、燃料使用量の節減に関する職員の意識向上を図る。
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・バス営業所の光熱水費について、ガスは平成28年度の使用実績を下回ったが、電気・水道については上回る結果となった。(ガス▲2.8%、電気+2.6%、水道+2.1%) ・エコドライブ強化日(毎月第3水曜日)の点呼時に乗務員にエコドライブの指導を行った。 ・「ecoだより」を2回発行しエコドライブの指導を行った。
評価	計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない)
備考	ガス使用量は目標が達成できたが、電気・水道は目標が達成できなかった。

個別計画概要

番号	2-(3)-①
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	組織の活性化に向けた取り組み
事業名	乗務員の安定的な確保と育成

担当課係

総務課 業務課	人事係 指導係
------------	------------

目的・必要性	事業を安定的・継続的に持続させるため、乗務員の安定的な確保と育成、資質向上を目指す。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大型自動車二種免許を有していない若年層を採用し、免許を取得させる養成制度を継続する。 ・運転操作や接遇等に関する実践的な研修の実施により、職員の資質向上を図る。

平成29年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・嘱託バス運転手採用試験の実施。 ・バス運転手教習生採用試験の実施。 ・正職員バス運転手採用選考の実施。 ・職員に対する各種研修の実施。
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・バス運転教習生(臨時職員/免許なし) 17名採用 ・新規採用嘱託職員(免許あり) 14名採用 ・正職員採用選考 8名採用 ・副所長・運行管理者研修 3回実施/延べ122名受講 ・新規実務指導員研修 21名受講
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(3)-②
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	組織の活性化に向けた取り組み
事業名	業務への意欲を高める取り組み

担当課係

総務課 業務課	総務係・人事係 指導係
------------	----------------

目的・必要性	乗務員の意欲や意識を向上させるための様々な取り組みを進め、職員のモチベーションを高め、サービスの質的向上を図る。 また、業務上の疑問、意見、悩みを聞き、風通しのよい職場を実現する。
内容	・業務改善意見提案制度や業務改善に向けたプロジェクトチームなど様々な方法を通して、職員からの意見を事業運営に反映させていく。 ・接客サービスなどで優秀な成績を収めた職員の表彰を実施する。

平成29年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・業務改善意見提案制度の活用により、職員からの提案・意見を事業運営に反映させていくとともに、接客サービスなどで優秀な成績を収めた職員を表彰するなど、職員一人ひとりの業務への意欲を高める取組を行う。 ・乗客誘致、安全運行の向上、経費節減などの課題を、現場・管理側の職員が一丸となって解決していくために、業務改善プロジェクトチームを設置する他、業務上の疑問、意見、悩みを聞き、風通しのよい職場を実現するため、「職員の声」を引き続き実施する。
事業実績	・業務改善意見提案件数 計4件(努力賞1件) ・業務改善プロジェクトとして、「市バス・地下鉄のイベント情報・豆知識等の広報資料作成」及び「車内事故削減に向けた取組み」をテーマに会議を計14回実施した。 ・「職員の声」件数 0件 ・平成29年1月～12月期職員市バスモニター表彰(自動車部長表彰) 延べ132人
評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(3)-③
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	組織の活性化に向けた取り組み
事業名	職員の意識の向上と働きやすい環境づくり

担当課係

業務課	指導係
-----	-----

目的・必要性	職員の意識の向上と働きやすい環境づくりに向けた取り組みを進めることにより、一人ひとりが心身ともに充実した状態で働けるような環境づくりを目指す。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・営業所と管理部門の職員との意見交換会を実施する。 ・安全確保や健康管理等について、日頃から情報交換がしやすい職場環境づくりを進める。 ・コンプライアンス遵守に向けた職場内研修を実施していく。

平成29年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・事業管理者及び安全統括管理者(自動車部長)と乗務員との意見交換会の実施(年3回)。 ・安全統括管理者と各課長との意見交換会の実施(年3回)。 ・営業所長及び主幹と乗務員との意見交換会(職場研修会・毎月随時開催)。
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・営業所長及び主幹と乗務員との意見交換会(毎月1回・12回実施) 延べ949名 ・4月8日 るーぷる仙台乗務員との意見交換会 8名(川内営業所) ・5月23日・6月6日・8月1日 事業管理者及び安全統括管理者と乗務員との意見交換会(各営業所1回実施) 49名 ・11月2日・13日・15日 安全統括管理者と各課長との意見交換会の実施(各営業所1回実施) 65名 ・平成29年度より、乗務員を対象とした事故削減プロジェクト研修において、安全統括管理者との意見交換会を実施している。
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	